

細部にわたる迄絶対の完成度を求め、  
ALTECの新世代を担う新開発  
ユニットを搭載。

# model 9862 Professional Monitor

ALTEC  
LANSING



内寸(H×W×D) 1100×630×330

# あらゆる細部に絶対の完成度を求めた、ALTEC次の時代を担う高度な新開発ユニットをおしみなく投入しています。

ダイナミックに変化しつづける現代の電子技術とミュージックシーン。当然プロモニタースピーカーもこの進化に追随し、超えることが要求されてきます。より俊敏に、デジタルレコーディングの真のサウンドリファレンスとしてついに性能を発揮できる製品の開発。プロモニターの原典としての地位を歩み続けるALTECが新しい技術を満載し、21世紀に向けてプロバージョンの頂点を旨としたMODEL 9862を生み出しました。新開発の高性能ユニットがおしみなく使われています。最低域には振動系に改

## ALTEC model 9862

善が施された38cm径の416-8BXSウーファーを使用し、350Hzからは30cm径の定評ある414-8Cを配置。バックチャンバーで完全分離させています。充実した低音域とあいまってALTEC特有

の重厚な中低域を可能にしています。1,500Hz以上の中高域は新鋭タンジェリン802-8Gドライバーを採用。802-8G用のホーンはALTEC初のストレートホーンで、さらに前面に設けられたALTEC独自の理論による新開発音響レンズの効果によって指向特性を大幅に改善しています。ツイーターはタンジェリンフェイズプラグを採用した新開発950リングツイーターで高効率、広帯域。そして優れた指向特性を持っています。ユニット個々のクオリティの高さが、より俊敏に原音を原寸で聴かせます。

### 802-8G

実に30余年の歴史をもち、ドライバーユニットのオリジナルな形としてトップの座をゆずらない802シリーズ。ALTECサウンドの基軸をなす802シリーズは、時代の洗練を受け802-8Dへと発展。ALTECを代表するスピーカーシステムA7を始めとする一連の主力システムに採用し、サウンドだけでなく、信頼性の点でも申し分のない安定したドライバーユニットとして、現在もなおプロユースのトップモデルとして活躍しています。この802-8Dのフェイズプラグを一新した「タンジェリン」ドライバーの愛称を持つ802-8Gを採用しています。明るく伸びやかな伝統のALTECサウンドが確実にワイドレンジ化していることにお気づきいただけるでしょう。さらびやかさのなかに、切れるようなザクッとくるパルシブなアタック。充分に伸びきった高音域のきめこまかな余韻の美しさまで、音抜けの良い爽やかさで音楽性豊かに広帯域再生します。

### HORN + LENS

ワイドレンジ化を図り、充分に伸びた中高域のエネルギー輻射を得た802-8Gドライバーを生かすために、ホーンも新たに開発しました。ALTEC初のストレートホーンを採用し、その前面にはブレード状の多孔板による音響レンズをアッセンブリーしています。比較的ショートなストレートホーンは、中高域エネルギーをレベルダウンさせることなくエネルギーに輻射します。また、特にショートホーンにありがちなホーンくささを一掃しています。素材からデッドニングに至るまで精密にチューニングを施しました。このエネルギーをワイドエリ



アに、フラットレスポンスで拡散する新開発音響レンズ。フィン状の音響レンズにありがちな指向特性は広いが、リスニングポジションが限定されるという欠点を見事に解決しています。指向特性は理想的円錐形パターン。しかも、中高域は自然なストレートな音の力を感じさせてくれます。自然な音像定位で、リスニングエリアを拡大。ALTECならではの力強いパワー感をもった音の張り出しが、広帯域、広指向性でお聴きいただけます。

### 950

9862システム用に新開発されたユニットやコンポーネントが数多く採用されていますが、950ツイーターはそのなかでもALTEC次の世代の新技术を駆使して開発されています。高域のレンジをいまでより大幅に伸ばすことができるタンジェリンフェイズプラグをいよいよツイーターの領域にまで採用しました。このタンジェリンフェイズプラグの採用により、高域レンジは大幅に伸び、しかも高域エネルギーは充分。さらには、高域を可聴帯域内でフラットに再現することに成功しています。スロート部にイコライザーなしのストレートホーン。音の拡散はタンジェリンフェイズプラグでなされますから、指向性の広い高域エネルギーがストレートに力強く輻射されます。同時にリングダイヤフラムの採用。ダイヤフラム上のどのポイントをとってもスロート部から等距離にあるため、位相ずれがありません。構造、音質ともに次の世代を先どりしています。



### 416-8BXS 414-8C

PCMレコーディングなど現代の最先端のオーディオ技術に対応し、素早い過渡応答とダイナミックレンジ、広帯域特性を実現し生まれたALTECのスタジオモニター9862。ウーファーは、振動系に改善を施した416-8BXSを使い、効率、リアリティ、歪などを大幅に改善。良質で厚みのある量感、質感は他に例を見ません。ミッドウーファーは、適度なダンピングとステイフネスをもった30cm径の414-8C。350Hz~1,500Hzを受け持ち、中低域の厚みの再現性や、瞬時に立ち上がるトランジェントの良さを、音楽情報が集中している帯域で見事に再生します。これらALTEC精鋭ユニットを、形状、材質、構造ともベストマッチングするよう充分吟味されたエンクロージャーに収めています。完璧なポートチューニング。中低音414-8Cはバックチャンバーで完全分離。重低音の反射による影響を除きました。

#### ユニット構成

950 802-8G 414-8C 416-8BXS

規格	ユニット配置は左右対称型
再生周波数帯域	20~20kHz
許容入力(連続プログラム)	65W
インピーダンス	8Ω
音圧レベル(21S)	94dB
クロスオーバー周波数	350Hz / 1.5kHz / 8kHz
外形寸法(H×W×Dmm)	1100×610×320
重量	23.0kg

パナソニックエレクトロニクス株式会社

株式会社 **エレクトロ**

● 本社 〒141 東京都中央区本町2-10-3 (A) ● 電話 03-5614-2000  
● 営業部 〒105 東京都港区赤坂2-27-1 (B) ● 電話 03-5614-2000  
● 東京支店 〒100 東京都千代田区千代田1-1-1 (C) ● 電話 03-5614-2000